

条例・予算の質疑

条例

介護保険条例

問 (近藤議員)

基準額を増やさざるを得なかった根拠と、介護予防の取組みは。

答 (戸野福祉保健課長)

介護サービス量に応じ3年ごとに見直すもの。介護従事者の待遇改善、介護報酬の3%が改定されることと、保険者の人口割合が変化し、負担が増えた事が主な要因。全てのサービスにおいて、介護サービス量増加と高齢化の進行という状況。中山温泉の歩くプールの設置も含め、更なる介護予防に努める。

問 (西尾議員)

近隣の類似町との比較と、延滞金利息14・5%は高いのではないかと。

答 (戸野福祉保健課長)

大山町の介護保険料は県内で、低いレベルにある。利息の率は介護保険法に決められている。

指定管理(観光交流センター)

問 (岩井議員)

指定管理委託料をゼロにできなかったか。また、5年後、独立採算がとれる見込みは。公社はもつと努力をすべき。

答 (福留大山振興課長)

指定管理委託料の算定は、公共施設の部分は町管理、収益が上がる部分は指定管理者が自助努力により運営経費をまかなうものと考え。施設を見ると公共的(トイレ、駐車場、休憩施設、観光案内等)なものがかんりの面積を占めている。

答 (山口隆之町長)

物販、情報のアンテナショップ的役割。独立採算、ここで完結する施設という考えでなく、ここを基点にもっと大きな経済の活性化、収益につながる役割を果たさなければならぬと考える。とはいえこの運営は公社の収益でまかなえるような努力は行っていかねばならない。公の役割を担っているというご理解を。

平成21年度 一般会計予算

歳出

路線バス

問 (諸遊議員)

町内路線バスの乗車率が悪い。町から率先して乗車率向上の行動を。

答 (野間企画情報課長)

取組みを考えてみたい。

消費者相談

問 (遠藤議員)

消費者行政活性化交付金を使いどのような事業を行っているか。

答 (小西住民生活課長)

振り込め詐欺、架空請求、多重債務等、様々な悪徳商法が蔓延している中で、住民の安心、安全を守る対策として、この交付金を用い相談窓口を設ける。

農業振興

問 (秋田議員)

農地・水・環境保全事業と中山間地事業の取組み集落数と、中山2期地

区県営畑地対策総合整備事業の説明を。

答 (池本農林水産課長)

農地・水・環境保全事業、中山間地事業共に36集落、重複は4集落。中山2期の畑総事業は、下蚊屋から水を引くための管路工事。報国、羽田井工区、八重工区が予定されている。

問 (岡田議員)

特定野菜等供給産地育成価格差補給事業費負担

金の内容と、新農業水利システム保全対策工事の説明を。

答 (池本農林水産課長)

前者は、全国的な組織があり、野菜価格が下落した時、価格補填するもの。対象はブロッコリー、スイートコーン。後者は既存の農業用水路、樋門等を補修、新設するもの。

畜産業

問 (西山議員)

公害防止対策協議会は



観光交流センター (道の駅「大山恵みの里」)